

**重要**

# モノの所有からサービスの利用へ サブスクリプション型のPC運用

## INDEX

---

企業の価値観の変化	02
PCのサブスクリプションサービスとは	03
PCサブスクリプションのメリット	04
現状の課題	05
課題の解決策	06
as a Service	07
dynabook as a Serviceの特徴	08
ハードウェア調達	09
クライアントPC LCMサービス	10
セキュリティ設定	11
各種アプリケーションのサービス	12
最後に	13

# 01 企業の価値観の変化

各企業では企業価値を上げるために、収益性や投資（資産）効率性の向上に取り組んでいます。その中で、資産の有効活用を図る観点から、ムダな資産を持たないようにするために、モノの「所有」から「利用」に考え方が変化しています。こうした価値観の変化には、大きく3つの理由が挙げられます。

## ①サブスクリプションサービスの拡大

従来からPCのリースやレンタルは存在していましたが、Microsoft 365に代表されるソフトウェアについても、パッケージやライセンスを購入して資産化という形態から、月額利用料として経費精算するケースが一般的となってきました。

## ②SDGs/サステイナブルという考え方の普及

「SDGs」や「サステイナブル」という考え方が一般的となり、各企業は環境および社会問題へ取り組む姿勢を重視するようになりました。必要なモノを必要な時に「利用」するという考え方は、企業の社会的な存在価値を高められます。

## ③モノのデジタル化

技術の革新により、様々なモノがデジタル化されたことで、モノよりもサービスを購入するように意識が変化しました。また、コロナウイルスの流行により働き方が激変したことで、クラウドサービスの利用が急激に増えたことも要因の1つです。

### 「所有」の考え方

- モノを購入して使用
- 最初にすべて支払い
- 資産として管理

価値観が  
変化している

### 「利用」の考え方

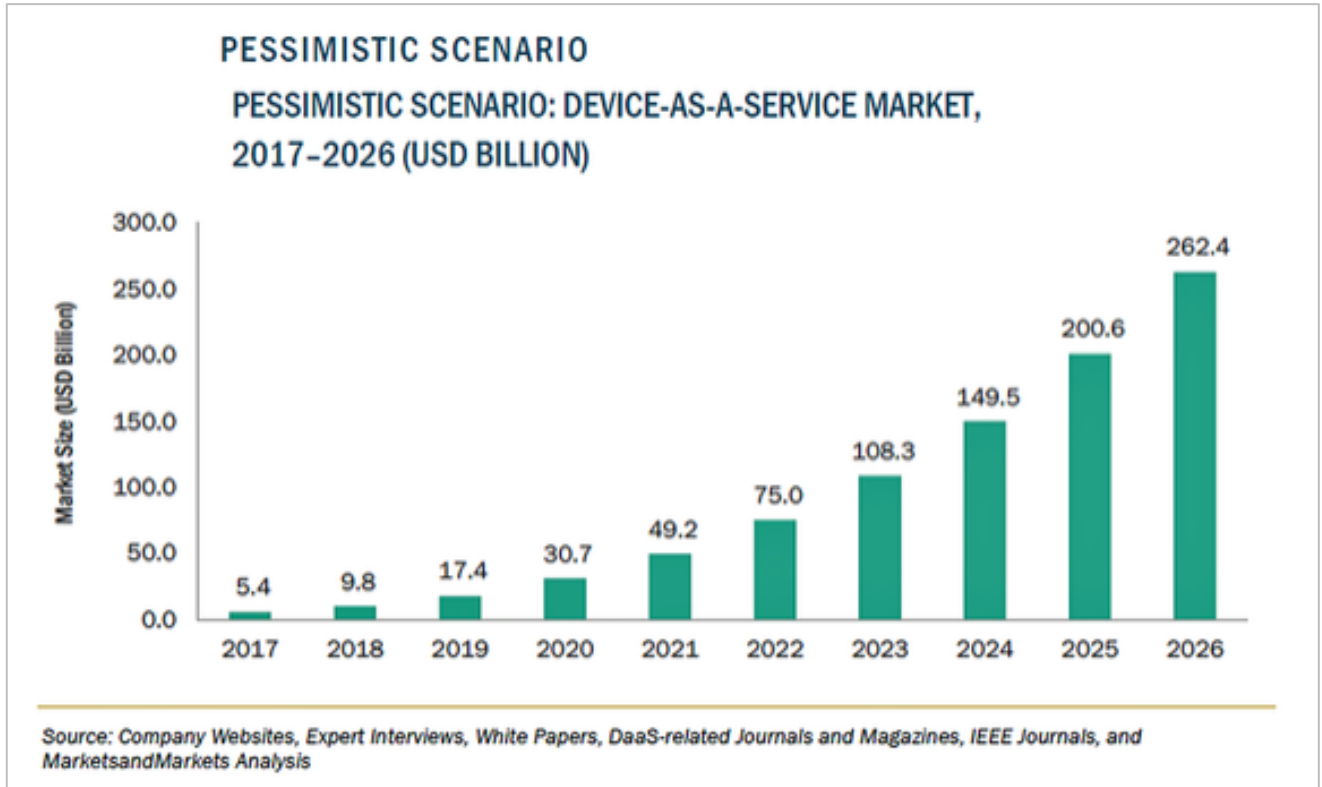
- サービスを決められた期間内で利用
- 低価格で利用開始、定期的に支払い
- サービス利用のため、資産を持たない

# 02 PCのサブスクリプションサービスとは

企業の関心がサブスクリプションモデルに移っていることや、働き方の変化に伴い、従業員が使用するクライアントPCの運用にもサブスクリプションという考え方が急速に浸透してきています。

実際、DaaS(Device as a Service)の市場規模は、2021年の503億米ドルから年平均43.2%で成長し、2026年には3036億米ドルに達すると予測されています。

DaaS(Device as a Service)の市場規模、2026年に3036億米ドル到達予想



# 03 PCサブスクリプションの メリット



## ① PCのセットアップが不要に

企業ごとに必要な設定はすべてクラウドから自動で設定されます。そのためキittingや初期設定は不要になり、ご自宅でもPCの展開が可能になります。

## ② 常に最新

ソフトウェアやセキュリティは自動で最新にアップデートされ、なおかつデータはすべてクラウドにあるためインターネットがあれば、いつでもどこでも会社と同じように働くことができます。



## ③ IT管理者の工数減

デバイスの申請から保守、運用作業など今までIT管理者が大変な工数をかけ、管理していたこともPCベンダーが管理してくれるため、IT管理者はIDの管理を行うだけでよくなります。

# 04 現状の課題

従来型のPC運用を行っていると、様々な課題が挙がってきます。

PCのキitting作業や  
マスターPCの更新作業が  
煩わしい

テレワークをする社員に対して、  
PCの受け渡しに時間を要する

PC利用者からの問い合わせ  
対応が多いと感じる

テレワークに  
対応したセキュアな  
PCを導入したい

PCを固定資産として  
扱いたくない



# 05 課題の解決策

現状の課題に対して、DaaS（Device as a Service）には解決策が含まれています。

## 現状の課題

PCのキッティング作業や  
マスターPCの更新作業が煩わしい

PC利用者からの問い合わせ  
対応が多いと感じる

テレワークをする社員に対して、  
PCの受け渡しに時間を要する

PCを固定資産として扱いたくない

テレワークに対応したセキュアな  
PCを導入したい

## DaaSでの解決策

プリインストールOSを使用した  
キッティングのため、マスターPCは不要

問い合わせは専用の窓口が対応し、  
IT管理者は本来の業務を推進

PCを利用者へ直接配送するため、  
IT管理者は対応不要

サブスクリプションサービスのため  
資産化されない

セキュリティ推奨値を初期設定する  
ため、IT管理者の負担を軽減



# 06 as a Service

しかし、前述の通りクライアントPCの運用形態をサブスクリプションに変えるだけでは企業の未来は守れません。急速な時代のに変化に対応するために、IT管理者や経営者は「ゼロトラストセキュリティ」「社員の生産性向上」「テレワーク推進」「SDGs」など、様々な時代背景を考慮して考える必要があります。

そこで、Dynabookでは長年のPCベンダーとしての知見と各種SaaSベンダーとの連携を活かし、IT管理者や経営者をフルサポート可能なサブスクリプション型のサービスを取り揃えており、今後もお客様のIT資産運用をフルサポートしてまいります。

## dynabook as a Service

### サブスクリプションサービスとして提供

各種SaaSサービス …… Microsoft 365 ライセンス、等

PC導入および運用 …… クライアントPC LCM サービス

ハードウェア …… PCのレンタルまたはリース

# 07 dynabook as a service が目指すもの

Dynabookでは、お客様のITリソースならびにIT資産の運用に関わるサービスをサブスクリプションサービスとして取り揃えています。

## 特徴

SaaS型で提供するアプリケーションサービスはサブスクリプションとして利用が可能

Dynabookカスタマサクセス担当にて、Microsoft 365テナントのセキュリティ推奨値を一括適用

PCライフサイクルで必要な機能やサービスをワンストップで提供

ハードウェアIDの提供が可能  
(Windows Autopilot展開で利用)

LCMサービスの導入実績多数



# 08 ハードウェア調達

クライアントPCの調達には、購入して資産管理する方法と、リースやレンタル契約を結ぶ方法の2つがあります。

Dynabookでは、クライアントPCの調達方法も含め、お客様の希望に合わせた手段を選んで頂くことが可能です。

## 購入

- 性能の高い機種は資産化する必要あり
- 滅却時はセキュリティ対策を自前で実施

## リース

- 数年の継続利用が必須
- 希望する機種を選定可能
- 途中解約は不可
- 契約終了時に返却、または再契約を結び延長利用

## レンタル

- 数日から数年の利用
- レンタル会社の機種に限定
- 途中解約は可能
- 契約終了時に返却

# 09 クライアントPC LCMサービス

クラウド型の端末展開によってPC導入時の管理者の負担軽減は図れますが、導入計画や調達、PC故障時の運用保守、PC再資源化や環境対策といったPC導入時以外の対応工数も考慮しなくてはなりません。

Dynabookではパソコン自社開発・製造メーカーとしてのノウハウと強みを生かし、PCのライフサイクルに関わるさまざまなサービスを「クライアントPC LCMサービス」としてワンストップで提供しています。

全国に自社運営のフィールドサポート網を完備しており、障害発生時は設計・品質部門と連携することで、迅速な対応を実施することが可能です。

また、PC買取サービスをご活用いただくことで、PCライフサイクルコストの削減を図ると共に、SDGs（持続可能な開発目標）の達成への貢献につながります。

## クライアントPC LCMサービスのメニュー

(PC Life Cycle Management)

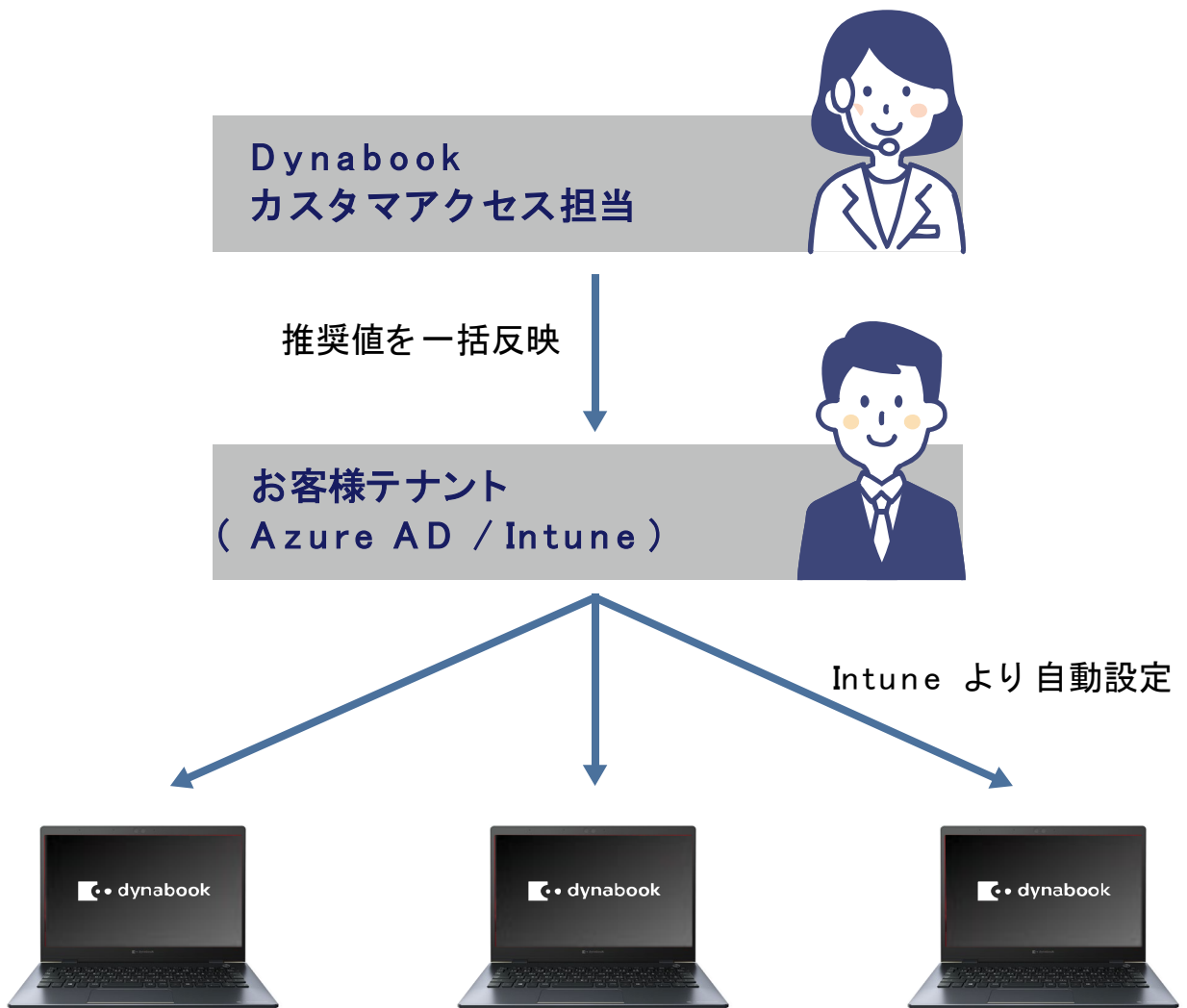
クライアントPCに関わる導入計画から調達・導入・運用・保守・撤去・再販リユース等々…  
ライフサイクルマネジメントソリューションをご提供します。



# 10 セキュリティ設定

テレワークに必要なセキュリティ設定の推奨値をMicrosoft 365テナントへ一括反映します。

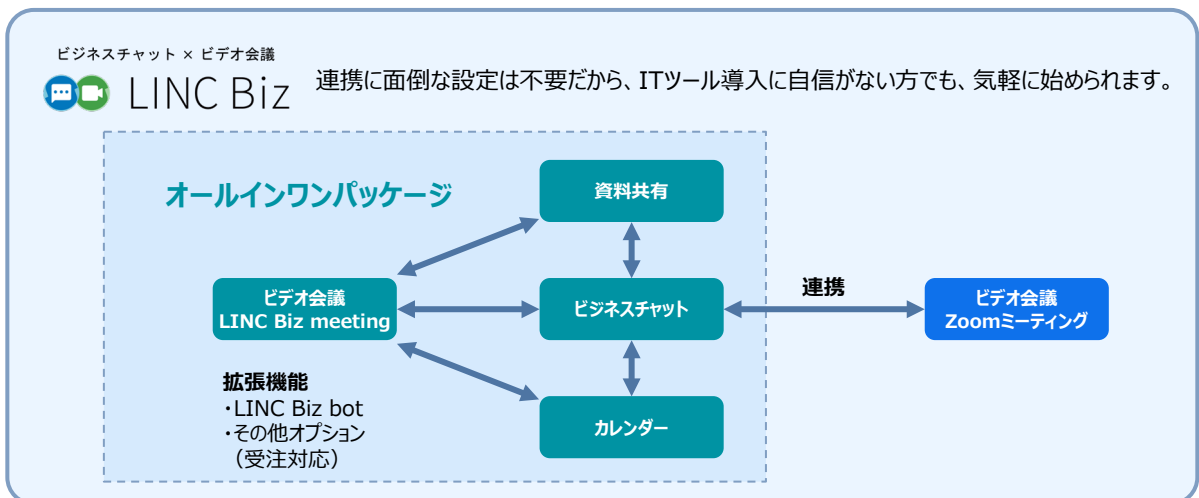
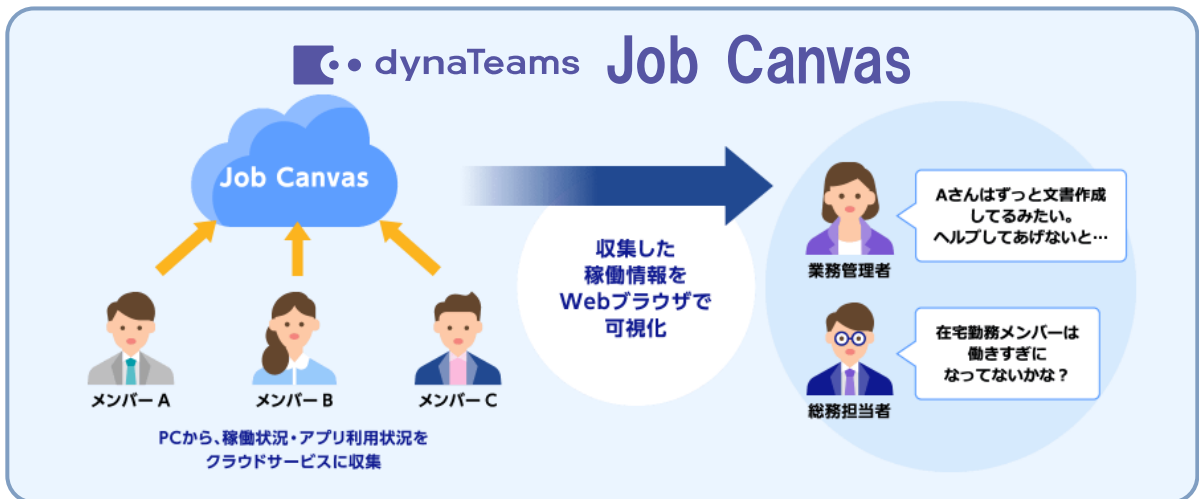
また、OSの更新プログラムも最新バージョンへ自動更新されるため、IT管理者の負担を軽減させることができます。



# 11 各種アプリケーションのサービス

Dynabookでは、Microsoft 365を代表とするSaaSアプリケーションも利用可能です。

Dynabook独自の「Job Canvas」(各端末の稼働状況やアプリ利用状況を収集して分析、可視化)や「LINC Biz」(社員間のコミュニケーションツール)を用意しております。



# 12 最後に

お客様の「働き方改革」を支援するため、パソコンメーカーとして長年培ってきたコンピューティング技術と、企業のIT環境構築などを支援してきたノウハウを活用し、人々の生活、学び、働き方に貢献する製品の開発・提供に努めていきます。Dynabookは人を支え、人に寄り添う会社として社会課題に真摯に向き合い、“dynabook as a Computing”と“dynabook as a Service”の両面から、SDGs達成への貢献を目指し、持続可能でよりよい世界の実現に貢献していきます。

この機会に、サブスクリプション型のPC運用をぜひご検討ください。



Dynabook株式会社は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています

## ■ お問い合わせ先

Dynabook株式会社

国内事業統括部 国内B2B営業本部 国内ソリューション営業部

TEL: 03-5144-3602

e-mail: DBI-KAIHATSU-G@list.dynabook.com



Azure、Intune、Microsoft、Microsoft 365、Windowsは米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における登録商標または商標です。  
その他の記載されている社名・商品名・サービス名などは、それぞれ各社が商標として使用している場合があります。